

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1926
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.20, No.4 (1926. 4)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19260401-0125">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19260401-0125</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

聲を求めたる曲學者ではなかつた。平易な眞理を明白純正に説明し紹介した事及びそれを多數の聽衆に教へるに成功したといふ事は空談や逆説を以て注意を喚起する事よりは一層大なる貢獻である。……Kraus は隨從者ではない。Kraus は謙遜な併し溫情な人格を有して居てその身邊の者に大なる感化を與へた。彼には新しい識見、著意の發作があつて屢々豫期せざる彼の斷案によつて我々は驚かされた。……」(Varnhagen von Ense, K. A., Denkwürdigkeiten des eignen Lebens. Leipzig, 1871)

以上述べ終つた如く經濟思想の方面に於ては一八〇八年までにはSmithの思想は獨乙に於て可成り擴まつた。併しその進歩は遅々として行はれたものであつて「國富論」が初めて注意されて以來二十五年を又之に共鳴して進んで鼓吹される様になつて以來十年餘を経過した。Sartorius, Lueder, Kraus と同時代の人々及び彼等の後繼者——Hufeland, Soden, Holtz, Krag 及び Jakob の如き人々——はSmithの學説を認めるのに重大な修正を加へた。一八〇五年から一八〇八年に至る間に之等の人及び爾餘の人々の著書は發表された。そして獨乙の政治及び經濟生活の急激な變化が惹起しつゝあつた當時の經濟上の出來事に關する強烈な利害關係にその論據を求めた。斯かる短時日の間に斯ほご多數に經濟に關する書物の公にされた事は未だなかつた。併し此時期に當つてSmithの學説そのものは他の方面、即ち Stein, Hardenberg 及び von Schön の如き政治家の活動舞臺にその勢力を振ひつゝあつたのである。(完)

## 前號 (第二十卷) 目次

(大正十五年三月號)

「價值論の價值」	小泉 信三
金融資本網の組織	向井 鹿松
第十九世紀英國貿易概論	野村兼太郎
經濟地理學研究に關するシュミットの の見解	伊藤 秀一
森耕三郎著「リカード價值論の研究」	三邊 金藏
理財學會記事	

一冊定價金五拾錢  
半年分金貳圓九拾錢  
一年分金五圓四拾錢

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛

●營業に關する用件は發賣元宛

●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正十五年三月廿一日印刷納本  
大正十五年四月二日發行  
每月一回一日發行

三田學會雜誌  
禁轉載  
第二十二卷第四號  
編輯者 江田 範 保  
發行所 東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾内  
印刷者 金子 鐵 五 郎  
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地  
金子 活版所

東京市芝區三田貳丁目壹番地

發賣元 丸善株式會社三田出張所

電話高輪 一九二六

●尚ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京三田芝 慶應義塾内 理財學會